

基本目標Ⅲ 市民・事業者・市が力をあわせて 取り組む都市「金沢」をつくる

1 環境教育・環境学習を進めます

1 環境教育・環境学習の推進

現況と課題

持続可能な都市¹を築いていくためには、市民・事業者・市の各主体が協働して、一人ひとりが自主的かつ積極的に環境への負荷の少ない取り組みを行うことが必要です。

そのためには、学校、家庭、地域、職場など様々な場において環境教育・環境学習²を進めていくことが大切です。

本市では、平成11年6月に「環境教育・環境学習推進会議」を設置し、環境教育研修の実施や講師派遣事業などを行ってきました。平成18年3月には、金沢エコライフ・ワーキングネット³が設立され、市民や環境に取り組む団体が集まって、各種講座や環境イベントを開催したり、教材を作成したりしています。

また、枝打ち作業体験や木工教室など市民が体験して学習できる機会を設けるなど、環境教育・環境学習の場は広がりつつあります。

今後は、学校だけでなく、地域や職場などあらゆる場における多様な環境教育・環境学習プログラムの開発・提供に努めるとともに、環境教育のリーダーとなる人材を育成し、子どもから高齢者まで幅広い全ての市民を対象とした総合的な環境教育・環境学習を推進していく必要があります。

持続可能(な社会)¹
将来の世代のニーズを満たす能力を損なうことなく、現在の世代のニーズを満たすような社会。

環境教育・環境学習²
環境の保全についての理解を深めるために行われる環境の保全に関する教育及び学習をいう。

金沢エコライフ・ワーキングネット³
(用語集に記載)



金沢エコライフ・ワーキングネット
作成の環境サブリクイズ

数値目標

- 環境保全活動に取り組む市内の小中学校を増やすため、かなざわ学校エコプロジェクトの実践校を増やします。
- ひとりでも多くの人々が環境について関心を持ち、行動を起こしていくため、環境出前講座の参加者数を増やします。
- ホタル生息調査参加者数を増やします。

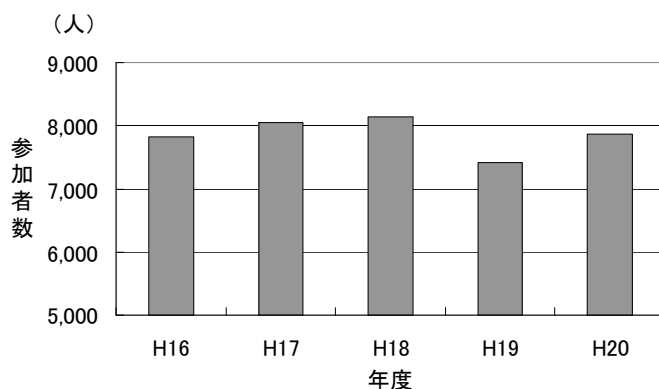


図 ホタル生息調査参加者数

指標	現況値	目標値
かなざわ学校エコプロジェクト参加校数(累積)	16校 (平成20年度)	36校 (平成30年度)
環境出前講座受講者数	2,957人 (過去3年平均)	3,000人 (平成30年度)
ホタル生息調査参加者数	7,856人 (過去5年平均)	8,000人 (平成30年度)

数値管理項目

- 環境イベント開催数
- こどもエコクラブ¹参加者数

こどもエコクラブ¹
(用語集に記載)

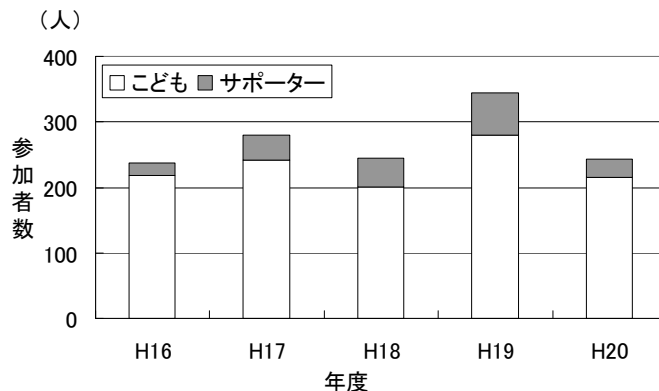


図 こどもエコクラブ参加者数

市の取り組み

- 環境教育¹に使用する教材の充実に努め、積極的に貸し出します。
- 環境について子どもたちとともに考え、学校において省資源、省エネルギーなどを推進します。
- かなざわ学校エコプロジェクトの実践校を増やし、環境教育の向上に努めます。
- 環境教育に関する教職員の研修を進め、指導力の向上に努めるとともに、持続発展教育²を推進します。
- 子ども達が楽しみながら行える環境調査や自然体験を企画します。
- 自然観察会やエコ食育³などの環境講座を充実させます。
- 森づくり専門員による森づくり出前講座や教室を開催します。
- 金沢ボランティア大学校⁴を支援します。
- 研修会などの実施により地域や企業の環境保全リーダーの養成に努めます。
- こどもエコクラブ⁵の活動を支援します。
- 市民参加型の環境調査を進めます。
- 地域・学校・事業者などが行う研修会へ、講師や環境アドバイザーを派遣します。
- 市民が景観について考え、学ぶための「景観教育・学習」の取り組みを進めます。
- 子ども達への交通環境学習を進めます。

環境教育・環境学習¹

環境の保全についての理解を深めるために行われる環境の保全に関する教育及び学習をいう。

持続発展教育²

持続可能な開発のための教育で、“人格の発達や、自律心、判断力、責任感などの人間性を育むこと”、“他人との関係性、社会との関係性、自然環境との関係性を認識し、「関わり」、「つながり」を尊重できる個人を育むこと”を基本理念とする。

エコ食育³

食材の選択、調理方法、後片付けなど、調理や食事を通して地球環境問題を教育すること。

金沢ボランティア大学校⁴

(用語集に記載)

こどもエコクラブ⁵

(用語集に記載)



こども環境キャラバン隊による
エコドライブ普及啓発キャンペーン



川の生き物調査

市民の取り組み

- 学校や家庭で環境学習をする機会を増やします。
- 子どもが環境について学校で学んだことを家庭で一緒に考えます。
- 市民提案型の環境学習会を行います。
- 公民館、ボランティア大学校などの環境に関する講座に参加します。
- 地域の高齢者から昔の暮らしの知恵を教わります。
- 自然とのふれあいを通じた環境学習を進めます。
- 身近な環境を調べます。

事業者の取り組み

- 従業員の環境マネジメントシステム¹の理解と実行に努めます。
- 従業員への環境教育²を定期的実施します。
- 環境教育の指導者（環境リーダー）を育成します。
- 環境学習で得た知識を活かし、自ら工夫して環境保全の知恵を創出します。
- 子どもたちの環境学習を推進するため、小中学校を対象に出前講座を実施します。
- 環境問題に関する本を購入し、社員に貸し出すとともに、子どもたちにも読み聞かせるようにします。
- 事業者の環境保全活動事例を市民に紹介し、家庭や地域の環境保全にも応用してもらいます。

環境マネジメント¹

事業者が自主的に環境保全に関する取り組みを進めるに当たり、環境に関する方針や目標などを自ら設定し、これらの達成に向けて取り組んでいくこと。

環境教育・環境学習²

環境の保全についての理解を深めるために行われる環境の保全に関する教育及び学習をいう。



2 環境情報の整備と共有

現況と課題

市民・事業者・市それぞれが、複雑多岐に渡る今日の環境問題を理解し、関心を持って環境に配慮した取り組みを行っていくには、各主体が環境に関する情報を効果的に活用できる必要があります。

本市では、市の公式ホームページの更新や環境に関する報告書の発行などにより、情報の提供を行っています。また、ごみの収集日を携帯電話やパソコンのメールでお知らせする「金沢ごみゼロドットコム」を平成14年10月から運用し、多くの市民に利用されています。

今後も、テレビや新聞などのマスメディアによる定期的な広報による情報提供を継続するとともに、市民や事業者の活動情報についても積極的に公開していく必要があります。

数値管理項目

- テレビ広報、ラジオ広報における情報提供回数



市の取り組み

- 環境に関する情報を収集・整備し、年次報告書などで公開します。
- 図書館や市政情報コーナーなどにおいて環境に関する情報を充実させるとともに、テレビ・ラジオ・新聞・ホームページ・メール配信サービスなどにより情報を提供します。
- 各種講座・研修・イベントなどを開催し、環境に関する情報を提供します。
- エコマーク商品、再生資源を使った商品、詰め替え用商品などの環境にやさしい商品を紹介します。
- 市民とともに環境情報を充実させるため、市民参加型の環境調査を推進します。
- 自然環境に関する基礎的な調査結果の公開に向け、データ整理を進めます。
- 環境に関する法規制などの情報を収集し、提供します。

市民の取り組み

- 環境に関して調査した結果をできるだけ情報提供します。
- 家庭や町会で行う環境保全活動をできるだけ紹介します。

事業者の取り組み

- 環境に関して調査した結果をできるだけ情報提供します。
- 会社が行う環境保全活動について、できるだけ紹介します。
- 環境に関するイベントなどに出展又は協賛します。

2 市民・事業者・市の協働の環を広げます

1 各主体の活動の推進

現況と課題

自然豊かな金沢の環境を保全し、環境負荷の少ないまちをつかっていくためには、市はもちろん、市民や事業者、各種団体も積極的に環境保全活動を進めていかなければなりません。

本市では、環境に関する観察会、講習会、出前講座などを通して、各主体の環境保全意識の向上を図っています。また、河川・海域や地域の美化については、たくさんの市民・事業者、各種団体がボランティアで活動を行っています。

今後もリサイクル活動、緑化活動、美化活動など様々な環境保全活動への取り組みを進めていく必要があります。

さらに、各主体の環境活動の動機付けとなるように、優秀な活動を行った市民・事業者・団体に対する表彰制度を充実させることも大切です。

数値管理項目

- 市民エコプロジェクト取組団体数¹
- 「いいね金沢環境活動賞」表彰者数²

市民エコプロジェクト
(取組団体)¹
(用語集に記載)

いいね金沢環境活動
賞²
(用語集に記載)



市民エコプロジェクト活動



出前講座

市の取り組み

- ボランティアやNPO¹による環境保全活動を支援し、より一層の活動の推進を図ります。
- ボランティアが活躍できる機会を作ります。
- 省エネやごみの削減に積極的に取り組む団体を支援します。
- 地域の自然環境の調査を進めている団体の育成と連携に努めます。
- 事業者の策定した環境保全に関する行動計画を認定します。
- 環境保全活動を積極的に行い、すぐれた取り組みをした個人・市民団体・事業所を表彰します。

NPO¹

民間公共団体、非営利組織と訳される。政府や営利企業では十分に対応できない環境や福祉などの問題について、市民が自主的に行う非営利活動団体をいう。国内で活動を行う組織に対して使われることが多い。

市民の取り組み

- 町会、地域、NPOなどの各種団体活動に積極的に参加します。
- 金沢ボランティア大学校²で学んだことを活かし、ボランティア活動に参加します。

金沢ボランティア大学校²

(用語集に記載)

ISO14001³

(用語集に記載)

エコアクション21⁴

(用語集に記載)

事業者の取り組み

- ISO14001³やエコアクション21⁴など環境マネジメントシステム⁵を導入し、PDCAサイクル⁶の継続を図ります。(再掲)
- 事業の実施による環境への影響を予測・評価し、適切な対策を行います。
- 事業実施後の継続的なモニタリングを行います。
- 環境財団を設立し、環境保全活動、環境教育⁷などの実施、それらへの支援・助成の検討を行います。
- NPOの活動状況と参加機会に関して、公的機関による情報を事業所内で伝達する仕組みを作ります。
- ボランティア活動を積極的に行います。

環境マネジメント⁵

事業者が自主的に環境保全に関する取り組みを進めるに当たり、環境に関する方針や目標などを自ら設定し、これらの達成に向けて取り組んでいくこと。

PDCAサイクル⁶

Plan(計画)、Do(実施)、Check(点検)、Action(見直し)を意味し、品質向上のためのシステムの考え方。

環境教育・環境学習⁷

環境の保全についての理解を深めるために行われる環境の保全に関する教育及び学習をいう。

2 協働体制の構築と連携の強化

現況と課題

これまで、市民団体やNPO¹、事業者、市のそれぞれの主体が、地域において独立した環境保全活動を展開することが多く、各主体間の協力や連携が十分に図られていないという課題がありました。

協働による活動では、異なる強みを持つ主体が、共通の目標のために責任と役割を持って、協力しながら成果を共有することができます。

金沢市では、環境負荷の少ない事業活動を推進していくため、平成12年7月に事業者と協働して金沢エコ推進事業者ネットワーク²を設立しました。

平成17年5月には、市民・事業者・学識者などからなる「金沢市地球温暖化対策推進協議会」を設置し、地球温暖化対策の普及啓発事業の実施や省エネルギービジョン・新エネルギービジョンの点検・評価などを行っています。

また、平成18年3月に設立された金沢エコライフ・ワーキングネット³では、市民、各種団体、市が協働して、環境教育・環境学習活動⁴の推進を図っています。

今後は、これまで以上に市民・事業者が環境施策に参画しやすいように、市の取り組みなどの情報を提供するとともに、市民・事業者・市の各主体間の対話の場や機会を設け、環境に関するコミュニケーションを促進することが必要です。

NPO¹

民間公共団体、非営利組織と訳される。政府や営利企業では十分に対応できない環境や福祉などの問題について、市民が自主的に行う非営利活動団体をいう。国内で活動を行う組織に対して使われることが多い。

金沢エコ推進事業者ネットワーク²

(用語集に記載)

金沢エコライフ・ワーキングネット³

(用語集に記載)

環境教育・環境学習⁴

環境の保全についての理解を深めるために行われる環境の保全に関する教育及び学習をいう。

数値管理項目

- 金沢エコライフ・ワーキングネット会員数
- 金沢エコ推進事業者ネットワーク参加事業者数

市の取り組み

- 市内で活動している環境保全団体のネットワーク化を進めます。
- 市民の提案を市の施策に活かすために、市の施策に対する意見の公募やフォーラムの開催などに努めます。
- 市民・事業者参画型のイベントなどを開催します。
- 企業と大学や研究機関などとの連携による環境ビジネスへ助成し振興を図ります。
- 市民・事業者とともに行う公園や沿道景観の整備・管理活動の継続を支援していきます。
- 市民、市民団体、事業者、学校などとの協働により、不法投棄の防止を図ります。
- 市民ボランティアからなる「景観サポーター」制度により、市民と連携した景観向上の取り組みを推進します。

市民の取り組み

- 市民・事業者・市が協力し、環境に配慮したまちづくりを進めます。
- 省エネやごみの削減などを地域で推進するネットワークづくりを進めます。
- ごみ減量などに関する市民会議を開催します。

事業者の取り組み

- 市民・事業者・市が協力し、環境に配慮したまちづくりを進めます。
- 金沢エコ推進事業者ネットワーク、金沢53ダイエットネットワークなど、環境に関連したネットワークに参加します。
- 市民と協力して、公園の保全、植林、清掃活動などを行います。
- 環境に関するイベントを開催します。
- ボランティア活動やNPO¹の活動を積極的に支援します。
- 産・学・官の人材・技術交流に積極的に参加します。

NPO¹

民間公共団体、非営利組織と訳される。政府や営利企業では十分に対応できない環境や福祉などの問題について、市民が自主的に行う非営利活動団体をいう。国内で活動を行う組織に対して使われることが多い。

3 広域的・国際的な取り組みの推進

現況と課題

地球温暖化をはじめとする様々な地球環境問題は、国境を越えた各国共通の取り組みが重要です。また、大気汚染や水質汚濁、地盤沈下などの対策にあたっては、周辺市町と連携した取り組みが必要です。

本市では、河北潟周辺の2市2町^{*1}からなる「河北潟水質浄化連絡協議会」を開催し、河北潟の水質浄化を図っています。また、平成20年度からは、石川中央広域圏の3市3町^{*2}からなる「環境にやさしい買い物担当者会議」を設け、広域的に、環境負荷の少ない商品・サービスの提供やその購入を働きかけています。

また、平成20年4月、日本で初めての国連大学高等研究所活動支部として、「いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット」が本市に開設され、「環境と持続可能な開発」をテーマに都市環境における生物多様性¹の調査・研究が進められています。

今後は、市民・事業者・市のそれぞれの主体が、広域的・国際的な視点を持ち、市外や海外においても環境に配慮した行動をとっていくとともに国、県、関係市町と連携を強化していくことが必要です。

※1 金沢市、かほく市、津幡町、内灘町

※2 金沢市、白山市、かほく市、野々市町、津幡町、内灘町

生物多様性¹
自然生態系を構成する動物、植物、微生物など、地球上の豊かな生物種の多様性と、その遺伝子の多様性、そして地域ごとの様々な生態系の多様性を意味する包括的な概念。



河北潟ニュース
(河北潟水質浄化連絡協議会)



環境にやさしい買い物キャンペーン

市の取り組み

- 姉妹都市交流の中で環境情報の交換などを行います。
- 広域的な環境対策を行うため、国、県、関係市町村との連携を進めます。
- 国などに要望を行うことにより、環境施策の円滑かつ効果的な実施に努めます。
- 環境に関する国際会議・シンポジウムなどの開催を支援します。

市民の取り組み

- 金沢市外においても、環境に配慮した行動をとります。
- 世界の環境について学びます。
- できるだけ環境NGO¹の活動に参加します。
- 環境NGOの活動を支援し、協力します。

NGO¹

非政府組織。政府とは違い市民の立場から、主に国際的な活動を行う民間団体のことをいう。

事業者の取り組み

- 金沢市外においても、環境に配慮した行動をとります。
- 環境保全に携わっている事業者が他の業界や市外・県外企業に対して、自社の活動などを説明・紹介します。
- 環境に十分配慮して海外事業を実施します。
- できるだけ市外や海外からの研修生などを受け入れ、人材育成を推進します。
- 海外企業などと環境に関する共同技術開発を進めます。
- 環境に配慮した事業や環境保全に関する技術について、情報交換を行います。